

出雲の水

平成27年12月18日発行 発行者：出雲市上下水道局

向山配水池等の再構築事業に着手

～主要配水池の耐震化に向けて～

耐震診断等により、地震時に機能保持ができないという診断結果となった向山配水池と七面山配水池の2つの配水池(大津町)の再構築と、これに伴う送水管・配水本管の工事を、今年度から平成30年度までの4年間で実施する計画を立て、設計作業に着手しました。

◆配水池

★新向山第2配水池の建設

既存の新向山配水池の敷地内に隣接して新向山第2配水池(3,300 m^3)を建設し、現在の七面山配水池(4,000 m^3)を廃止します。

★向山配水池の建替え

現在の向山配水池(10,000 m^3)を取壊して、その跡地に9,000 m^3 の配水池を建設します。



▲建設後40年以上経過した向山配水池(容量10,000 m^3)

◆送水管

配水池の再構築に伴い、来原浄水場から配水池への送水管を、現在の4経路から2経路に集約します。

この内、老朽化が進んでいる部分(直径500ミリ、延長約1,000m)を耐震管路に更新する工事を行います。

◆配水本管

七面山配水池の代わりに新たに建設する新向山第2配水池からの配水本管(直径350ミリ、延長約600m)を新設する工事を行います。



▲向山配水池(容量9,000 m^3)の完成イメージ

安心・安全の信頼を未来につなぐ水道をめざして

～水道事業の動き～

水道事業では、良質な水道水の安定供給を図りながら、市民の皆様に信頼され続ける水道を目指して、次のような事業に取り組んでいます。

◆上水道

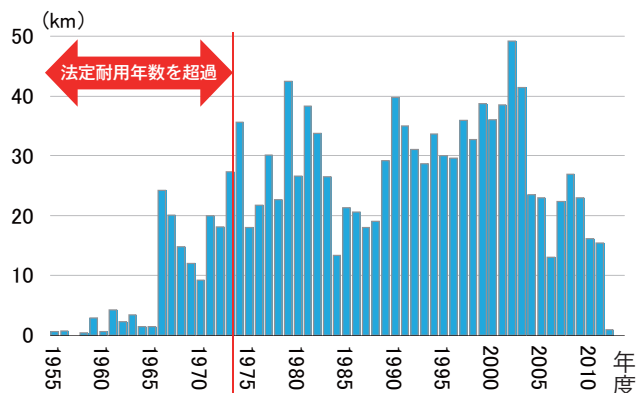
★管路更新計画を策定

水道管の総延長は約1,450kmあります。水道管は永久に使えるものではありません。年数が経つにつれて老朽化し、漏水の可能性が高くなるため、順次更新する必要があります。

既に法定耐用年数を超過した管路は約164kmあり、全管路の約11%を占めています。

そこで、各管路の材質、構造、布設年度、地盤条件から老朽度を整理し、更新計画を策定しました。

今後10年間の目標として年平均約10kmを更新する予定です。また、事業費を年間約5億円と見込んでいます。



▲水道管の年度別布設延長

★出雲地域の幹線管路の2条化事業

地震等の災害時でも安定的に供給できるよう、幹線配水管の複線化(2条化)事業を行っています。これは、既存の塩冶地区経由の幹線配水管とは別に、国道9号バイパスに新たな幹線配水管を整備するもので、今年度から2ヶ年当中野美保交差点から天津朝倉北交差点までの区間に配水本管(直径600ミリ)を布設する工事を行います。

◆簡易水道

★美保簡易水道と塩津簡易水道の統合事業に着手

塩津簡易水道の水源が水量不足、水質悪化の状況にあることから、最寄りの美保浄水場を増補改良し、塩津地区へ配水する連絡管を整備する事業に着手しました。平成28年度末完成を目標に整備を進めます。



▲美保簡易水道と塩津簡易水道の統合図

★鷺浦猪目簡易水道の統合事業に着手

老朽化している鷺浦水源、鷺浦浄水場を廃止し、上水道から日御碕中山地区を経由して給水するための事業に着手しました。平成28年度末完成を目標に整備を進めます。

★河下広域簡易水道で県受水区域拡大

河下広域簡易水道では、水量や水質の不安定な水源を廃止し、斐伊川水道事業(島根県水道用水供給事業)からの受水に転換するための施設整備を進めています。平成27年11月には一部の地区(唐川町、別所町)を除きほぼ全域に給水しました。

なお、平成27年度末には全域で受水予定です。



▲高尾調整池(大社町日御碕)の予定地

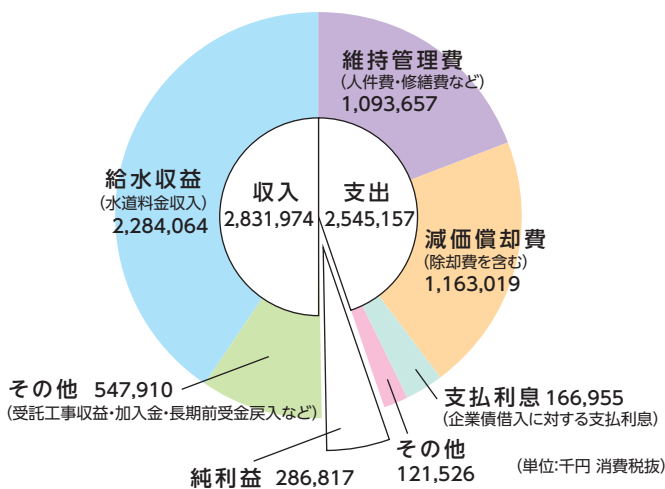
平成26年度決算の概要

水道事業(上水道事業)会計 ～会計制度の改正と基幹管路の整備などを推進～

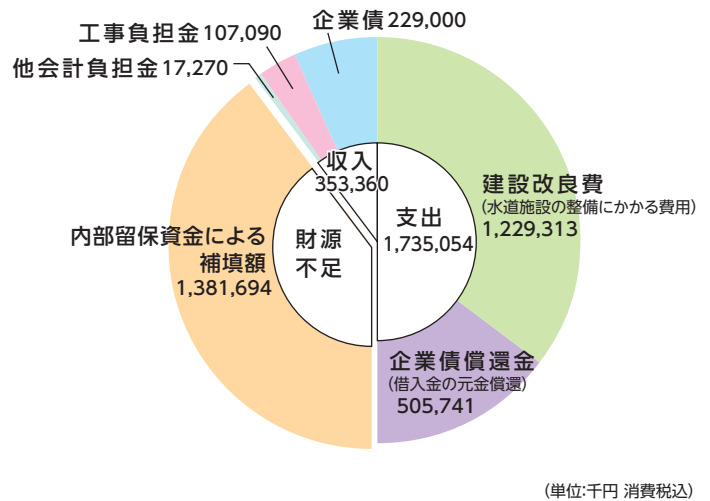
平成26年度水道事業の収益的収支は約2億9千万円の黒字となりました。これは、会計制度の改正により、新たに長期前受金戻入額を計上したほか、企業債の繰上償還の実施に伴い、借入利息の圧縮が効果として表れたことが主な要因です。

資本的収支の中では、新向山配水系配水本管整備事業、平田地域農道配水管整備事業、来原浄水場施設耐震化事業のほか、老朽管更新工事などを行いました。

◆収益的収支(水道水を供給する経費と財源)



◆資本的収支(施設整備のための経費と財源)



企業債残高 8,720,952千円

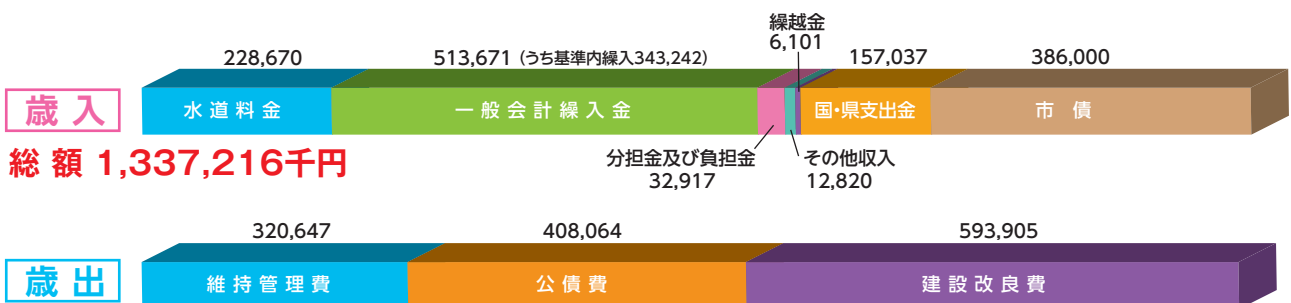
簡易水道事業特別会計 ～上水道への統合に向けて施設整備も終盤へ～

平成26年度も引き続き上水道への統合に向けた施設整備を実施しました。

鷺浦及び猪目簡易水道では、両簡易水道をつなぐ統合事業が完了し、名称を鷺浦猪目簡易水道と改めました。河下広域簡易水道では、引き続き島根県の斐伊川水道事業の水を受水するための施設整備を行い、多伎簡易水道では、上水道で集中管理を行うための遠方監視施設の整備を行いました。また、須佐・窪田・多伎の簡易水道では、老朽化した機械・電気設備の更新を行い、東部統合簡易水道では、ポンプ場と関連施設の整備に着手しました。

決算については、水道料金収入が約2億3千万円で、維持管理費と公債費を合わせた経費は約7億3千万円でした。このため、不足する約5億1千万円を一般会計から繰り入れました。

◆平成26年度 簡易水道事業特別会計決算



総額 1,337,216千円

総額 1,322,616千円

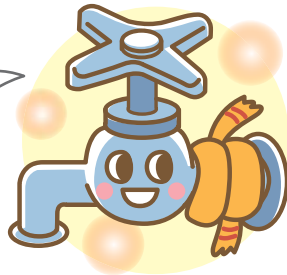
(単位:千円 消費税込)

起債残高 6,534,466千円

水道管に防寒対策をしましょう!!

水道管は、気温がマイナス4℃以下になると凍結し破裂することがあります。

屋外の水道管は早めに防寒対策をして寒さに備えましょう。

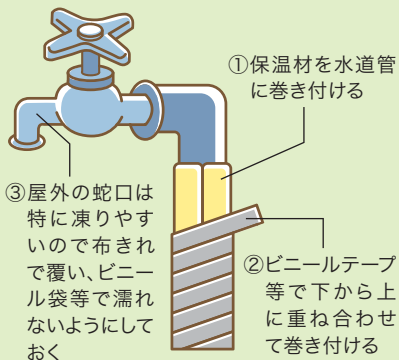


特に凍結しやすいのは?

- ・むき出しになっている水道管
- ・風当たりの強い屋外にある水道管
- ・北向きで日陰にある水道管
- ・給湯器まわりの水道管

簡単にできる防寒対策!

《屋外露出配管》



凍結してしまったら!

自然に溶けるのをまつか、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりぬるま湯をかけてください。
(熱湯は破裂の危険がありますので、絶対にかけないでください)



破損してしまったら!

メーターボックス内の止水栓を右に回して水を止め、最寄りの指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください。

※指定給水装置工事業者は、上下水道局のホームページをご覧ください。



～宅内漏水の検査方法～

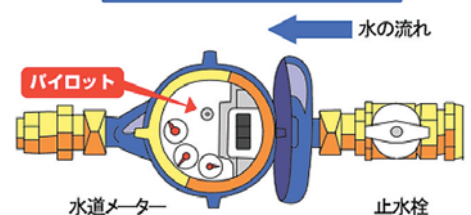
土中や床下、壁の内側などにある水道管の破損は、発見することが難しく、知らない間に漏水していることがあります。

こうした漏水は水道メーターで確認できます。

宅内の全ての蛇口を閉めて、右図のようにパイロットがまわっていたら漏水の可能性がります。

その場合は、指定給水装置工事業者へご相談ください。

簡単な漏水検査方法



家中の蛇口を閉め、パイロットが回っていないか確認します

上下水道局職員を装った悪質な業者にご注意を!!

上下水道局では、次のようなことは行っておりません。

- ・水道管の洗浄や漏水の点検料金請求
- ・お客様から依頼のない水質検査
- ・浄水器などの販売、あっ旋
- ・水道メーター交換代金の請求

不審に思われたときは上下水道局へご連絡ください。



井戸水や山水をご使用のお客様へ

出雲市水道事業では、水質基準を満たした安全な水道水を供給しています。水道が利用できる地域で井戸水や山水をご使用の方は、飲料水だけでも水道水をご利用ください。水道水への切替えについては、上下水道局又は指定給水装置工事業者までご相談ください。

お問合せ先

業務内容	担当部署	電話番号
水道使用の開始・中止等の手続き、水道料金に関すること	水道営業課	21-3511
断水・赤水・道路の漏水、給水装置工事に関すること	水道施設課	21-3512
来原浄水場に関すること	浄水管理室	21-0914
下水道使用料、排水設備接続、浄化槽の設置と維持管理補助金に関すること	下水道管理課	21-2226
下水道工事及び計画、市設置浄化槽の工事に関すること	下水道建設課	21-2228
水道・下水道に関するお問い合わせは右記の部署でもお受けしています。	平田上下水道事務所	63-5554
	河南上下水道事務所	43-1211
	斐川上下水道事務所	73-9130